# **News Release**

#### 公益財団法人埼玉リそな産業経済振興財団

理事長 増田 賢一朗

〒330-0063 さいたま市浦和区高砂2-9-15 TEL: 048-824-1475 FAX: 048-824-7821

No. 62-31 2025年5月9日

# 県内企業の国内景気に対する見方が大幅に悪化 企業業績では経常利益が3四半期ぶりにマイナスに転じた

--- 第 183 回企業経営動向調査より ---

埼玉県内の企業を対象に4月に実施したアンケート「第183回企業経営動向調査」(対象企業1,010社、回答企業数330社、回答率32.7%)によると、最近の国内景気に対する見方は、2023年1月調査時以来の低い結果となった。自社の業況に対する見方は、依然として高い水準にあるものの、先行きは国内景気と同様に現状より大きく低下する結果となった。

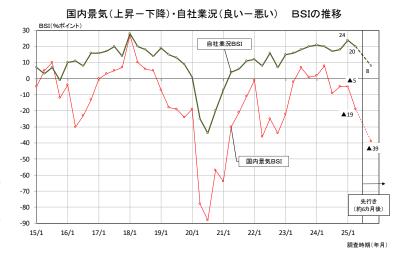
また、売上高・経常利益の推移では、好調を維持する売上高の一方で、経常利益は低下した。経常利益の減少の要因に人件費の上昇を挙げる企業割合が増加している。

#### 〇景況判断(国内景気・自社業況)

**最近 (2025年4月) の国内景気に対する見方**は、 「上昇」8%、「下降」27%で、BSI(「上昇」ー 「下降」の企業割合)は▲19と、前回調査(2025 年1月)の▲5から14ポイントの低下となった。

自社業況に対する見方は、「良い」28%、「悪い」8%で、BSIは+20となり、前回調査(2025年1月)の+24から4ポイント低下した。自社業況BSIは17四半期連続してプラスで推移したものの、今回調査では非製造業の一部の業種で低下がみられ、全体を低下させる結果に繋がった。

一方で**先行き(約6カ月後)**については、国内景気のBSIが▲39と現状の▲19から20ポイントの低下、自社業況のBSIが+8と現状の+20か

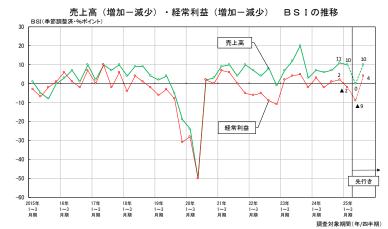


ら12ポイントの低下と、いずれも現状の値より低下する結果となった。今回調査を行った4月には米国新政権による想定を超えた関税政策の内容が公表されている。各国の通商政策に係わる問題に発展しており、経済の不確実性が増大し、国内景気、経営環境の先行きに不透明感が広がったとみられる。

#### ○経営動向(売上高・経常利益)

2025年1~3月期の売上高は、季調済BSI(「増加」-「減少」の企業割合)が+10となり、前回調査対象期間(2024年10~12月期)の+11から1ポイントの低下となった。また同年1~3月期の経常利益は、季調済BSIが▲2となり、前回調査対象期間(2024年10~12月期)の+2から4ポイント低下し、3四半期ぶりにマイナスに転じた。

**経常利益減少企業が回答した減少の要因**(複数回答)は、「売上・受注の不振」をあげるところが58.3%(前回調査時64.6%)、「仕入単価の上昇」が46.9%(前回調査時66.7%)、「人件費の上昇」



42.7% (前回調査時41.5%) などとなった。売上高の季調済 BSIは高い水準にあるが、仕入価格や諸経費価格が高止まりし、利益は下押しされている。

(照会先:齋藤)

# 1. 景 況 判 断

# (1) 国内景気

#### (現 状)

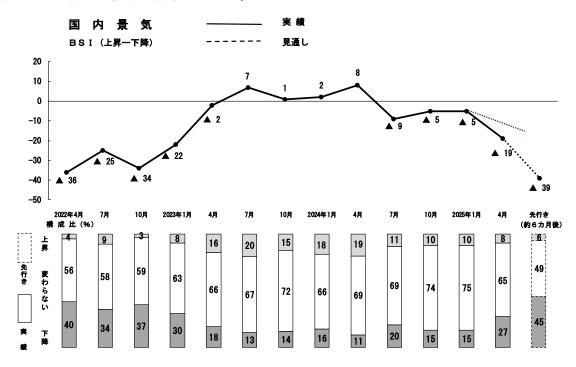
最近 (2025年4月) の国内景気に対する見方は、「上昇」8%、「下降」27%で、BSI (「上昇」-「下降」の企業割合) は▲19と、前回調査 (2025年1月) の▲5から14ポイントの低下となった。国内景気のBSIは2024年7月期にマイナスに転じたのち、4四半期連続でマイナスが続いている。

業種別にみても、製造業はBSI  $\triangle$ 24で前回調査の $\triangle$ 12から12ポイントの低下、非製造業は $\triangle$ 17で前回調査の0から17ポイントの低下となり、ともにマイナス幅を広げる結果となった。

#### (先行き)

先行き(約6カ月後)については、「上昇」6%、「下降」45%で、BSIは▲39と現状の▲19から20ポイントの低下となった。今回調査を行った4月に公表された米国新政権による関税政策の内容が、想定を超え、各国の通商政策に係わる問題に発展するものであったことから、経済の不確実性が増大し、国内景気、経営環境の先行きに不透明感が広がったとみられる。

業種別では、製造業は現状の▲24に対して▲40と16ポイントの低下、非製造業は現状の▲17に対して▲37と20ポイントの低下となり、現状と先行きについて、製造業と非製造業ともに大幅に悪化する結果となった。



#### (2)業界景気

#### (現 状)

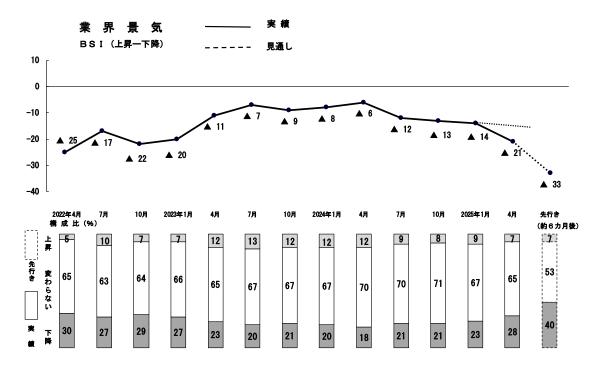
最近の自社業界の景気に対する見方は、「上昇」7%、「下降」28%で、BSIは▲21となり、前回調査(2025年1月)の▲14から7ポイントの低下となった。業界景気のBSIは29四半期連続してマイナスとなっており、業界景気について厳しい見方が続いている。

業種別にみると、製造業はBSI $\triangle$ 31で前回調査の $\triangle$ 22から9ポイントの低下、非製造業は $\triangle$ 15で前回調査の $\triangle$ 8から7ポイントの低下となった。食料品製造業は改善したが、建設業や運輸・倉庫業などで悪化が目立った。

#### (先行き)

先行きについては「上昇」7%、「下降」40%で、BSIは▲33と、現状の▲21から12ポイントの低下となった。自社業界の先行きには、厳しい見方を更に強めている。

業種別では、製造業はBSI▲42で現状の▲31から11ポイントの低下、非製造業は▲28で現状の▲15から13ポイントの低下となった。ほぼ全ての業種で悪化し、マイナス幅を拡大させている。



#### (3) 自社業況

#### (現 状)

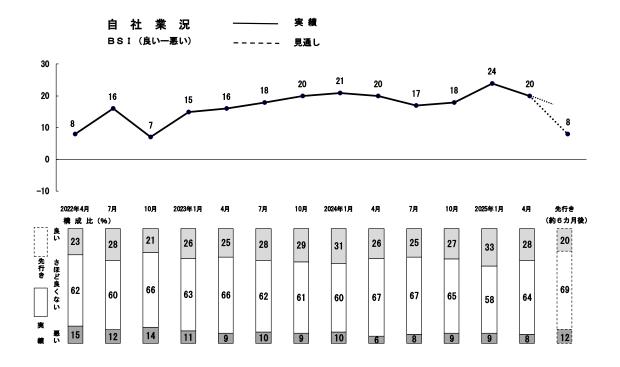
最近の自社の業況に対する見方は、「良い」28%、「悪い」8%で、BSI(「良い」-「悪い」の企業割合)は+20となり、前回調査(2025年1月)の+24から4ポイントの低下となった。自社業況のBSIは17四半期連続してプラスで推移しており、「良い」とする企業が多い状態が続いている。

業種別にみると、製造業はBSIが+16で前回調査の+14から2ポイントの上昇、非製造業は+22で前回調査の+31から9ポイントの低下と、方向が分かれた。製造業と比較して、非製造業の自社業況BSIは依然としてより高い水準にあるが、今回調査では非製造業のうち、卸売業、建設業、不動産業、運輸・倉庫業で特に低下がみられた。

#### (先行き)

先行きは「良い」20%、「悪い」12%で、BSIは+8と、現状の+20から12ポイントの低下となった。業種別では、製造業はBSI+5で現状の+16から11ポイントの低下、非製造業は+10で現状の+22から12ポイントの低下となった。

自社業況の現状は、引き続き高い水準となったが、先行きについては現状より大きく下 方に低下する結果となった。また前回調査(2025年1月)時点での見通しの+18よりもさら に低い水準を示しており、先行きについて慎重な見方が増えている。



# 2. 経 営 動 向

# (1) 売上高

#### (現 状)

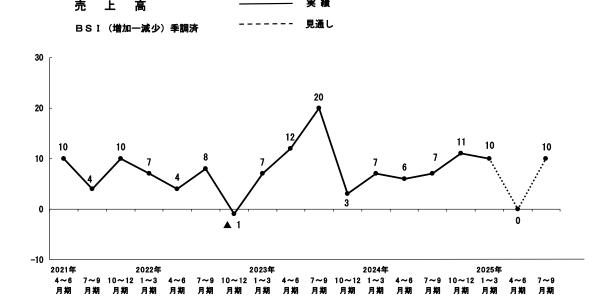
2025年1~3月期の売上高は、季調済BSI(「増加」-「減少」の企業割合)が+10となり、前回調査対象期間(2024年10~12月期)の+11から1ポイントの低下となった。売上高の季調済BSIは2020年7~9月期以降、2022年10~12月期を除いて、プラス水準で推移している。

業種別にみると、製造業は季調済BSI+10で前回調査の+7から3ポイントの上昇、非製造業は+9で前回調査の+14から5ポイントの低下と、方向が分かれた。

#### (先行き)

先行きについては、2025年4~6月期の季調済 BSIが0、7~9月期は+10と、現状の+10から低下したのち、上昇する見通しとなった。

業種別では、製造業が2025年1~3月期、4~6月期、7~9月期に $+10\to \blacktriangle2\to +9$ 、非製造業では $+9\to +2\to +11$ となっており、ともに4~6月期で低下する見通しとなった。業種毎にみると、今後の売上高の見通しの推移にバラツキがみられる。



#### (2) 経常利益

#### (現 状)

2025年1~3月期の経常利益は、季調済BSIが▲2となり、前回調査対象期間(2024年10~12月期)の+2から4ポイント低下し、3四半期ぶりにマイナスに転じた。

業種別にみると、製造業は季調済BSI+4で前回調査の $\blacktriangle$ 5から9ポイントの上昇、非製造業は $\blacktriangle$ 4で前回調査の+6から10ポイントの低下と、方向が分かれ、非製造業の悪化が目立った。

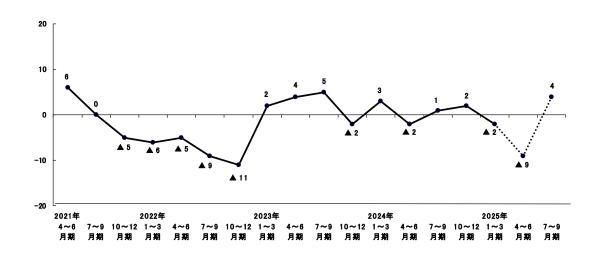
経常利益減少企業が回答した減少の要因(複数回答)は、「売上・受注の不振」をあげるところが58.3%(前回調査時64.6%)、「仕入単価の上昇」が46.9%(前回調査時66.7%)、「人件費の上昇」42.7%(前回調査時41.5%)などとなった。売上高のBSIは高い水準にあるなか、仕入価格や諸経費価格が高止まりし、利益は下押しされている。

#### (先行き)

先行きについては、2025年4~6月期の季調済BSIが▲9、7~9月期は+4と、低下したのちに上昇する見通しとなっている。

業種別では、製造業が2025年1~3月期、4~6月期、7~9月期に+4→ $\blacktriangle$ 10→+3、非製造業では $\blacktriangle$ 4→ $\blacktriangle$ 7→+5となっている。業種毎の推移はバラツキが多い結果となった。





#### (3) 設備投資

#### (現 状)

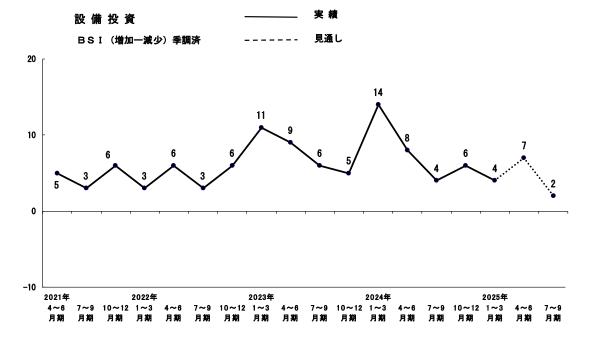
2025年1~3月期の設備投資は、季調済BSIが+4となり、前回調査対象期間(2024年10~12月期)の+6から2ポイント低下した。17四半期連続でプラスとなっており、設備投資は底堅く推移している。

業種別にみると、製造業は季調済BSI+6で前回調査の+10から4ポイントの低下、 非製造業は+1で前回調査の+2から1ポイントの低下となり、やや弱さのある結果となった。

#### (先行き)

先行きについては、2025年4~6月期の季調済BSIが+7、2025年7~9月期は+2と、プラスで推移するものの、徐々に水準を低下させる結果となった。

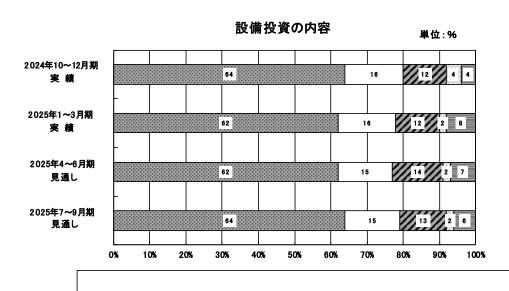
業種別では、製造業が2025年1~3月期、4~6月期、7~9月期に $+6\rightarrow +9\rightarrow +1$ 、非製造業では $+1\rightarrow +6\rightarrow +4$ となった。ここでも業種毎の見通しにバラツキが多い結果となった。



# <設備投資の内容>

設備投資の内容については、2025年1~3月期は「更新投資」が62%、「能力増強投資」 16%、「合理化投資」12%、「研究開発投資」2%などとなった。今回調査では、前回調査 比、「更新投資」が2ポイント、「研究開発投資」が2ポイント低下した一方で、「その 他」が4ポイント上昇した。

2025年4~6月期、7~9月期の見通しについて、「合理化投資」の割合の増加がみられ、企業が人手不足対応として省人化・省力化に向けた機械投資の増加を計画していることがうかがえる。



#### (4) 雇用

#### (現 状)

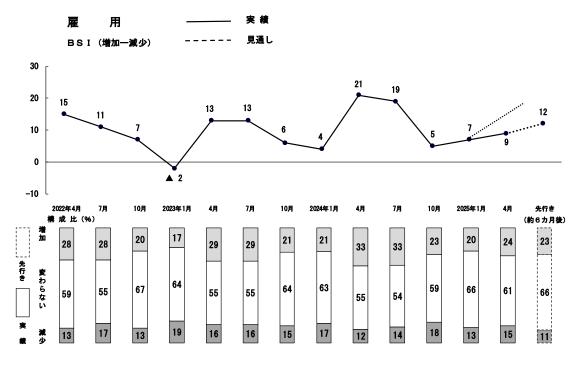
最近(ここ6カ月間)の雇用状況をみると、雇用人員が「増加」とした企業は24%、「減少」とした企業は15%で、BSIは+9と前回調査の+7から2ポイント上昇した。本質問項目では、新卒者の採用による増加を反映する4・7月調査にBSIが上昇し、10・1月調査に低下する傾向があるが、今回調査においては、4月調査のなか、前回1月調査より上昇したものの、やや落ち着いた上昇にとどまった。

業種別にみると、製造業はBSI+9で前回調査の0から9ポイントの上昇、非製造業は+9で前回調査の+11から2ポイントの低下となり、方向が分かれた。非製造業での4月新卒採用の雇用増加がやや低調だったことがうかがえる。

#### (先行き)

先行き(約6カ月後)については、「増加」とする企業が23%、「減少」とする企業11%でBSIは +12と、現状の+9から3ポイントの上昇となった。県内の雇用環境は先行きも底堅い状態 が続くとみられる。

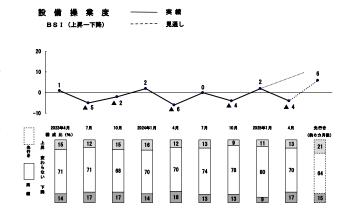
業種別では、製造業はBSI+11で現状の+9から2ポイント、非製造業は+12で現状の+9から3ポイント、ともに上昇する結果となった。



#### (5) 設備操業度(製造業)

#### (現 状)

最近(ここ6カ月間)の設備操業 度は、「上昇」13%、「下降」17% でBSI(上昇-下降)は▲4と、 前回調査の+2から6ポイント低下し た。設備操業度は悪化している。



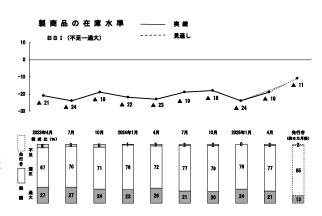
# (先行き)

先行き(約6カ月後)については、「上昇」21%、「下降」15%となり、BSIは+6と現状の▲4より10ポイントの上昇となった。設備操業度は先行き改善する見通しである。

#### (6) 在庫水準(製造業)

#### (現 状)

最近の在庫水準は「不足」2%、 「過大」 21%でBSI(不足一過 大)は▲19と、前回調査の▲24から5 ポイントの上昇となった。在庫水準に ついて、「過大」とする企業が引き続 き多くなっている。



#### (先行き)

先行き(約6カ月後)については、「不足」2%、「過大」13%となり、BSIは▲11と 現状と比較して8ポイントの上昇となった。在庫水準について、「過大」とする企業は先 行きで減少する見通しである。輸送機械製造業においては、先行きの在庫水準を+8と現 状の0より8ポイント上昇し、在庫「不足」に転じている。

# 3. 経営上の問題点

経営上の問題点(複数回答)については、「人材・人手不足」が58%と最も多かった。 次いで、「仕入原価上昇」50%、「諸経費上昇」45%、「売上・受注減少」30%、「資金 不足、資金繰り難」2%、「製商品安」2%などとなった。

業種別にみると、非製造業が製造業より「人材・人手不足」で18ポイント多く、逆に製造業が非製造業より「仕入原価上昇」で8ポイント、「諸経費上昇」で5ポイント、「売上・受注減少」では5ポイント多い結果となった。

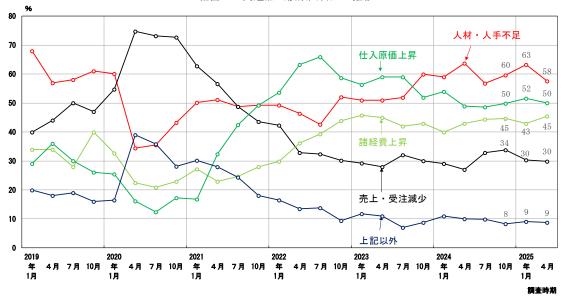
経営上の問題点は、2023年10月以降、7四半期連続で「人材・人手不足」が最も多い状況が続いている。但し、今回調査では「人材・人手不足」の割合が製造業・非製造業でともに低下した。特に製造業では、資源価格上昇により、高止まりしてきた「仕入原価上昇」の割合も減少するなか、「諸経費上昇」の割合が12ポイント上昇した。防衛的な賃上げの実施による人件費の上昇や、利上げによる金利負担の増加などが要因とみられる。

経営上の問題点(複数回答)

(単位:%)

	全点	産業	製法	<b>造業</b>	非製造業		
	前回	今回	前回	今回	前回	今回	
人材・人手不足	63	58	50	46	72	64	
仕入原価上昇	52	50	64	55	44	47	
諸経費上昇	43	45	37	49	47	44	
売上・受注減少	30	30	39	33	25	28	
資金不足、資金繰り難	3	2	4	4	2	1	
製商品安	4	2	5	2	3	3	
その他	3	4	1	5	4	3	

経営上の問題点(複数回答)の推移



# 付表 業種別項目別BSIの推移

	/		項 目 国内景気				¥	美界の景気	ā	自社の業況			
	\	期	(上昇-下降)				( ]	上昇一下降	入(4)	(良いー悪い)			
			別	2025年									
				1月	4月	9月まで	1月	4月	9月まで	1月	4月	9月まで	
業	種			前回調査	今回調査	見通し	前回調査	今回調査	見通し	前回調査	今回調査	見通し	
全	産	業		<b>A</b> 5	<b>▲</b> 19	▲ 39	<b>▲</b> 14	<b>▲</b> 21	<b>▲</b> 33	24	20	8	
製	造	業		<b>▲</b> 12	<b>▲</b> 24	<b>▲</b> 40	<b>▲</b> 22	<b>▲</b> 31	<b>▲</b> 42	14	16	5	
	食	料	品	0	0	▲ 8	<b>▲</b> 33	15	0	0	39	39	
	繊		維	0	<b>▲</b> 37	<b>▲</b> 63	<b>▲</b> 25	<b>▲</b> 25	<b>▲</b> 63	25	13	<b>▲</b> 12	
	紙	<ul><li>紙 加</li></ul>	工品	▲ 38	<b>▲</b> 33	<b>▲</b> 63	▲ 38	<b>▲</b> 44	<b>▲</b> 63	11	22	<b>▲</b> 50	
	化		学	<b>▲</b> 46	0	<b>▲</b> 34	<b>▲</b> 46	<b>▲</b> 25	<b>▲</b> 34	9	17	25	
	窯	業 •	土 石	<b>▲</b> 20	0	<b>▲</b> 67	<b>▲</b> 40	<b>▲</b> 33	<b>▲</b> 67	20	0	0	
	鉄釗	岡・非銀	鉄 金 属	14	0	<b>▲</b> 25	14	<b>▲</b> 13	<b>▲</b> 25	29	13	0	
	金	属	製品	<b>▲</b> 40	<b>▲</b> 50	<b>▲</b> 15	<b>▲</b> 40	<b>▲</b> 63	<b>▲</b> 15	<b>▲</b> 20	0	29	
	_	般	幾械	<b>▲</b> 16	<b>▲</b> 20	0	0	<b>▲</b> 40	<b>▲</b> 40	17	20	0	
	電	気	幾械	▲ 8	<b>▲</b> 44	<b>▲</b> 56	<b>▲</b> 24	<b>▲</b> 78	<b>▲</b> 78	8	<b>▲</b> 22	<b>▲</b> 11	
	輸	送	幾械	<b>▲</b> 13	<b>▲</b> 7	<b>▲</b> 43	<b>▲</b> 20	<b>▲</b> 14	<b>▲</b> 36	20	15	0	
	印		刷	<b>▲</b> 13	▲ 38	<b>▲</b> 25	▲ 38	<b>▲</b> 50	<b>▲</b> 50	0	25	12	
	そ	の他	製 造	4	▲ 38	<b>▲</b> 61	<b>▲</b> 5	<b>▲</b> 34	<b>▲</b> 57	28	22	4	
非	製	造 弟	<b>Ě</b>	0	<b>▲</b> 17	<b>▲</b> 37	▲ 8	<b>▲</b> 15	<b>▲</b> 28	31	22	10	
	卸		売	4	<b>▲</b> 15	<b>▲</b> 49	<b>▲</b> 30	<b>▲</b> 33	<b>▲</b> 46	20	6	3	
	小		売	0	<b>▲</b> 25	<b>▲</b> 40	<b>▲</b> 22	▲ 20	<b>▲</b> 45	37	30	5	
	建		設	2	<b>▲</b> 25	<b>▲</b> 37	13	<b>▲</b> 14	<b>▲</b> 27	48	35	25	
	不	動	産	0	0	<b>▲</b> 35	<b>▲</b> 15	<b>▲</b> 18	<b>▲</b> 47	33	12	12	
	運	輸 •	倉 庫	<b>▲</b> 4	<b>▲</b> 24	<b>▲</b> 40	<b>▲</b> 13	<b>▲</b> 24	<b>▲</b> 24	22	4	▲ 8	
	電	気・	ガス	0	0	0	0	▲ 33	▲ 33	0	0	0	
	情	報 ì	通 信	0	<b>▲</b> 10	<b>▲</b> 40	<b>▲</b> 17	10	10	16	50	20	
	飲 :	食店・	宿泊	0	<b>▲</b> 11	0	25	33	33	25	22	11	
	サ	<u> </u>	ビス	<b>▲</b> 2	<b>▲</b> 14	<b>▲</b> 36	<b>▲</b> 4	<b>▲</b> 7	<b>▲</b> 23	23	26	9	

項目	売上高									経常利益						
				(増加-	減少)	咸少)			(増加-減少)							
期		原	<b>数値</b>			季調	间值			原数	女値			季訓	間値	
別				2025年										2025年		
業種	10~12月 実績	1~3月 実績	4~6月 見通し	7~9月 見通し												
全 産 業																元通し
製造業	26	6	<b>▲</b> 4	13	11	10	0	10		<b>▲</b> 2		7				4
7,1	23	<b>▲</b> 2	<b>▲</b> 3	12	7	10	<b>▲</b> 2	9		<b>▲</b> 1	<b>▲</b> 9	9				3
食料品	<b>▲</b> 7	8	38	69	<b>▲</b> 14	44	28	65	<b>▲</b> 14	16	31	62	▲ 29	35	18	49
繊維	<b>▲</b> 25	0	0	<b>▲</b> 13	<b>▲</b> 18	▲ 7	<b>▲</b> 15	4	<b>▲</b> 25	0	13	0	<b>▲</b> 21	<b>▲</b> 4	0	30
紙 · 紙 加 工 品	45	▲ 33	0	▲ 22	18	<b>▲</b> 1	<b>▲</b> 24	<b>▲</b> 17	44	▲ 34	<b>▲</b> 11	<b>▲</b> 11	23	2	<b>▲</b> 14	<b>▲</b> 9
化 学	30	▲ 8	33	25	29	7	21	3	0	<b>▲</b> 25	25	8	4	<b>▲</b> 21	18	<b>▲</b> 9
窯 業 · 土 石	100	▲ 33	▲ 33	34	58	<b>▲</b> 45	<b>▲</b> 10	38	50	<b>▲</b> 67	▲ 33	▲ 33	<b>▲</b> 3	▲ 60	<b>▲</b> 32	<b>▲</b> 23
鉄鋼·非鉄金属	28	25	13	25	20	53	37	22	<b>▲</b> 29	37	<b>▲</b> 12	12	<b>▲</b> 34	46	<b>4</b> 4	8
金属製品	50	0	<b>▲</b> 13	25	46	6	9	<b>4</b> 4	25	<b>▲</b> 13	<b>▲</b> 25	12	23	<b>▲</b> 16	<b>▲</b> 29	<b>▲</b> 16
一般機械	83	60	<b>▲</b> 20	0	49	72	7	<b>▲</b> 22	83	80	<b>▲</b> 20	20	58	69	18	9
電気機械	<b>1</b> 0	<b>A</b> 11	0	0	<b>▲</b> 18	<b>▲</b> 26	18	1	<b>1</b> 9	11	0	11	<b>▲</b> 29	<b>▲</b> 13	12	12
輸送機械	0	14	7	22	<b>▲</b> 15	23	<b>A</b> 3	26				22		11		
印刷刷	15	<b>▲</b> 38	<b>▲</b> 25	<b>▲</b> 25	<b>▲</b> 34	<b>▲</b> 13				<b>▲</b> 25				0		<b>▲</b> 3
その他製造	35			0										1		
非製造業		<b>A</b> 9	▲ 37		19	4		<b>▲</b> 7		<b>▲</b> 8		▲ 8				<b>▲</b> 12
,, ,,,	29	10	<b>▲</b> 4	12	14	9	2	11		<b>▲</b> 2		7				5
卸売	45	<b>▲</b> 12	<b>▲</b> 3	15	13	<b>▲</b> 2	<b>▲</b> 5	15		<b>▲</b> 6	<b>▲</b> 3	15	11			
小売	18	30	<b>▲</b> 45	<b>▲</b> 5	6	5	▲ 9	<b>▲</b> 5	<b>▲</b> 9	0	<b>▲</b> 47	▲ 10	<b>▲</b> 14	<b>▲</b> 31	<b>▲</b> 22	<b>▲</b> 22
建設	34	13	7	14	22	10	20	13	16	0	▲ 9	4	7	▲ 8	3	4
不 動 産	21	29	▲ 18	17	25	11	▲ 8	6	21	29	▲ 6	17	21	23	▲ 3	11
運輸・倉庫	22	▲ 8	0	<b>▲</b> 4	<b>A</b> 4	14	<b>▲</b> 14	<b>▲</b> 7	9	<b>▲</b> 16	<b>▲</b> 4	▲ 8	<b>▲</b> 11	6	<b>▲</b> 14	<b>▲</b> 11
電気・ガス	50	33	▲ 33	▲ 33	-	-	-	-	50	0	<b>▲</b> 67	<b>▲</b> 67	-	-	-	-
情 報 通 信	17	20	20	20	18	12	41	13	17	60	<b>▲</b> 10	20	24	38	14	15
飲 食 店 · 宿 泊	0	11	0	22	<b>▲</b> 14	36	<b>▲</b> 26	<b>1</b> 0	0	<b>▲</b> 22	<b>▲</b> 22	22	<b>▲</b> 16	2	<b>▲</b> 44	<b>▲</b> 15
サービス	33	11	2	21	25	16	<b>A</b> 1	19	19	<b>▲</b> 17		12				10

	_	項	目				設備	投資					雇用	
			/		(増加-減少)							(増加-減少)		
		期							季訓	間値				
		5	训	2024年	2025年	2025年	2025年	2024年	2025年	2025年	2025年	2025年	2025年	2025年
				10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	1月	4月	9月まで
<u>業</u>	種	عالد	$\rightarrow$	実績	実績	見通し	見通し	実績	実績	見通し		前回調査		
全	産	業		9	6	8	3	6	4	7	2	7	9	12
製	造	業		15	5	12	2	10	6	9	1	0	9	11
	食	料	品	27	39	31	23	23	35	28	31	6	17	34
	繊		維	0	▲ 38	<b>▲</b> 13	<b>▲</b> 25	<b>▲</b> 6	<b>▲</b> 32	<b>▲</b> 15	<b>▲</b> 12	0	12	<b>▲</b> 13
	紙	· 紙 加 工	品	<b>▲</b> 25	33	0	22	<b>▲</b> 26	17	▲ 8	25	0	11	<b>▲</b> 12
	化		学	20	9	33	17	22	9	37	21	0	8	36
	窯	業・土	石	25	33	0	0	24	32	10	2	<b>▲</b> 25	33	0
	鉄釗	鋼・非鉄金	属	14	25	63	0	11	27	34	3	0	12	29
	金	属 製	밆	75	<b>▲</b> 12	25	0	53	15	<b>▲</b> 1	▲ 8	<b>▲</b> 25	▲ 38	0
	_	般 機	械	0	0	0	0	1	2	5	1	33	80	40
	電	気 機	械	36	<b>▲</b> 22	<b>▲</b> 11	<b>▲</b> 11	23	<b>▲</b> 23	<b>▲</b> 11	<b>▲</b> 6	<b>▲</b> 9	0	0
	輸	送 機	械	14	22	▲ 8	22	<b>▲</b> 4	26	<b>▲</b> 4	8	<b>▲</b> 13	29	15
	印		刷	0	0	25	<b>▲</b> 12	<b>▲</b> 12	<b>▲</b> 7	23	<b>▲</b> 15	0	0	<b>▲</b> 12
	そ	の他製	造	10	<b>▲</b> 12	0	<b>▲</b> 12	15	<b>▲</b> 19	<b>1</b>	<b>▲</b> 21	15	<b>4</b> 4	8
非	製	造 業		4	6	5	5	2	1	6	4	11	9	12
	卸		売	10	3	19	6	11	<b>▲</b> 3	29	9	23	3	18
	小		売	<b>A</b> 9	5	0	5	<b>A</b> 5	4	1	<b>A</b> 5	<b>▲</b> 5	<b>A</b> 5	0
	建		設	5	6	<b>A</b> 2	4	1	7	2	4	8	4	13
	不	動	産	0	18	6	18	5	13	2	13	<b>1</b> 0	35	6
	運	輸・ 倉	庫	13	8	16	16	0	8	17	11	0	12	12
	電	気・ガ	ス	50	33	<b>A</b> 33	0	_	-	_	_	0	33	0
	情	報通	信	17	10	<b>1</b> 0	0	9	7	<b>▲</b> 13	1	16	20	40
		食店・宿	泊	0	0	11	0	<b>A</b> 3	<b>A</b> 6	3	2	25	11	0
	サ	<u> </u>	ス	2	2	3	<b>A</b> 5	8	<b>A</b> 8	3	<b>A</b> 3	27	11	14

			項	目	設	備操業度			在庫水準	
			期	/	(_	上昇-下降	(1)	()	不足-過大	()
				別	2025年 1月	2025年 4月	2025年 9月まで	2025年 1月	2025年 4月	2025年 9月まで
業	種		`		前回調査	今回調査	見通し	前回調査	今回調査	見通し
全	産	業			_	_	-	-	-	_
製	造	業			2	<b>4</b> 4	6	<b>▲</b> 24	<b>▲</b> 19	<b>▲</b> 11
	食	彩	ŀ	品	20	33	58	<b>▲</b> 20	<b>▲</b> 25	<b>▲</b> 25
	繊			維	0	<b>▲</b> 13	<b>▲</b> 13	<b>▲</b> 75	<b>▲</b> 25	<b>▲</b> 13
	紙	<ul><li>紙</li></ul>	加工	·	<b>▲</b> 12	<b>▲</b> 11	<b>▲</b> 15	0	0	0
	化			学	11	8	18	<b>▲</b> 20	▲ 8	<b>▲</b> 9
	窯	業 •	土	石	0	<b>▲</b> 33	0	<b>▲</b> 25	<b>▲</b> 67	<b>▲</b> 33
	鉄釒	岡・非	鉄金	仓属	0	<b>▲</b> 12	13	<b>▲</b> 14	▲ 38	<b>▲</b> 25
	金	属	製	品	0	<b>▲</b> 37	25	<b>▲</b> 25	<b>▲</b> 13	<b>▲</b> 13
	_	般	機	械	0	0	<b>▲</b> 20	<b>▲</b> 50	<b>▲</b> 40	<b>▲</b> 20
	電	気	機	械	<b>▲</b> 9	<b>▲</b> 22	0	<b>▲</b> 46	▲ 33	<b>▲</b> 22
	輸	送	機	械	<b>▲</b> 7	0	16	<b>▲</b> 7	0	8
	印			刷	0	<b>▲</b> 13	<b>▲</b> 12	<b>▲</b> 14	<b>▲</b> 13	0
	そ	の他		造	6	0	<b>▲</b> 13	<b>▲</b> 32	<b>▲</b> 22	<b>▲</b> 9
非	製	造	業		_	_	_	_	_	_
	卸			売	_	_	_	_	_	_
	小			売	_	-	_	_	_	_
	建			設	_	-	_	_	_	_
	不	動	<u>h</u>	産	-	_	_	-	_	_
-	運	輸 •		庫	-	_	_	-	_	_
-	電	気・	ガ	ス	-	_	_	-	-	_
	情	報	通.	信	_	_	_	_	_	_
-	-/ .	食 店	• 宿		-	_	_	-	-	_
	サ	<u> </u>	ビ	ス	_	_	_	_	_	_

#### <調査手法>

わが国の代表的な景気動向調査として、日本銀行の「企業短期経済観測調査(短観)」 と内閣府・財務省の「法人企業景気予測調査」とがあります。本調査はそれらの全国ベースの調査に対応する地域ベースの調査として、埼玉県内における経済産業動向や企業経営動向をアンケートの方法によって集計・調査したものです。

本文中にあるBSIは、ビジネス・サーベイ・インデックス(Business Survey Index)の略で、質問事項に対して「増加」「変わらない」「減少」の各要素を持つ3種類の選択肢を用意し、このうち増加要素を持つ選択肢に回答した企業の割合から、減少要素を持つ選択肢に回答した企業の割合から、減少要素を持つ選択肢に回答した企業の割合の差をとったもので、企業の景況判断についての強弱感を指標化したものです。BSIのプラスは景況の好転、マイナスは景況の悪化を表しています。例えば、回答した企業500社のうち150社(30%)の企業で売上が増加し、50社(10%)の企業が減少した場合、BSIは次のように20となります。

BSI = 
$$(150/500\times100)$$
 -  $(50/500\times100)$  =  $30-10$  =  $20$ 

#### <調査要領>

#### 1. 調査の目的

埼玉県内における経済産業動向、企業経営動向を調査して、地域内企業の経営判断の 参考に供するとともに、地域経済産業の発展に寄与することを目的としております。

#### 2. 調查対象企業

県内に事業所を置く企業の中から、概ね従業員 10 名以上の企業を抽出、産業分類は製造業 12 業種、非製造業 9 業種、計 21 業種に分類しました。対象企業の業種別内訳は別表のとおりです。

#### 3. 調査時期 2025年4月

#### 4. 調査方法

最近と先行きの景気・業況判断、2025年1~3月期の経営動向及び4~6月期、7~9月期の経営予測をアンケート方式により調査しました。

#### 5. 回収状況

アンケートの回答企業は対象企業 1,010 社のうち、330 社(うち、Web 回答 123 社) (回答率 32.7%)。回答企業の業種別内訳と中小企業(中小企業庁方式)の占める比率 は別表のとおりです。

別 表 業種別対象・回答企業数

	<u></u>					
			対象企業数	回答企業数	業種別構成比(%)	うち中小企業 の占める比率 (%)
全	産	業	1,010	330	100.0	94. 2
製	造	業	389	121	36.7	97. 5
食	料	묘	51	13	3.9	100.0
繊		維	21	8	2.4	100.0
紙 •	紙加工		20	9	2. 7	100.0
化		学	45	12	3.6	91.7
窯 業	• 土	石	21	3	0.9	100.0
鉄鋼	• 非鉄金	:属	19	8	2. 4	100.0
金	属 製	묘	22	8	2.4	100.0
<u> </u>	般機	械	49	5	1.5	100.0
電	気 機	械	38	9	2. 7	88. 9
輸	送機	械	49	14	4. 2	92.9
印		刷	21	8	2.4	100.0
その	他 製	造	33	24	7.3	100.0
非	製造	業	621	209	63.3	92.3
卸		売	81	33	10.0	93. 9
小		売	80	20	6. 1	70.0
建		設	93	49	14.8	100.0
不	動	産	51	17	5. 2	94. 1
運輸	・ 倉	庫	71	25	7.6	96.0
電気	<b>・</b> ガ	ス	17	3	0.9	66. 7
情	報通	信	39	10	3.0	100.0
飲食	店 • 宿	泊	36	9	2. 7	100.0
サ・	ービ	ス	153	43	13.0	88.4